



葉山町

議会だより

No.
129
2017.7.28



議会人事が変わりました … 2
臨時会・定例会報告 … 4
細川前議員の失職確定 … 9
一般質問は、10人が登壇 … 10

写真：7月7日森戸海岸にて

葉山町議会

検索



委員会が管轄する内容及びメンバーの紹介

▶委員会が管轄する主な内容

- 政策財政部の所管に関する事項
行政施策、財政計画、町民協働
広報・広聴、公共施設など
- 総務部の所管に関する事項
文書法制、情報公開、防災、税務、職員給与など
- 都市経済部の所管に関する事項
都市計画の策定、公園、産業振興
観光、道路河川など
- 他の常任委員会の所管に属さない事項
会計、選挙、監査、消防など



近藤昇一 畑中由喜子
山田由美 土佐洋子(委員長)
金崎ひさ 飯山直樹(副委員長)

総務建設常任委員会

教育民生常任委員会

笠原俊一 横山すみ子
鈴木道子 窪田美樹(委員長)
待寺真司 石岡実成(副委員長)



▶委員会が管轄する主な内容

- 福祉部の所管に関する事項
社会福祉の企画、保健衛生、国民健康
保険、介護保険、戸籍、子育て支援など
- 環境部の所管に関する事項
環境保全、下水道、清掃事業、消費者
保護など
- 教育委員会の所管に関する事項
学校教育、社会教育など

▶委員会が管轄する主な内容

- 議会広報紙「議会だより」の
発行や、議会ホームページの
編集など
- 町民との会議などの議会広聴活動



飯山直樹 山田由美(副委員長)
土佐洋子 金崎ひさ(委員長)
窪田美樹 笠原俊一
待寺真司

議会広報常任委員会

議会運営委員会

石岡実成 横山すみ子
近藤昇一 笠原俊一(委員長)
畑中由喜子 鈴木道子(副委員長)
待寺真司



▶委員会が管轄する主な内容

- 円滑な議会の運営を期するため、
議長の諮問機関ないし補佐機関
- 議会改革の検討及び推進

第2回 臨時会

5月12日に、正副議長の選挙や監査委員の選任(2ページに関連記事)、補正予算等の審議を行いました。

平成29年度葉山町一般会計補正予算(第2号)

● 法規訟務経費

(43万円)

下山口にある町道の所有権に関する控訴の提起のため、弁護士追加選任及び学識経験者による意見書作成に係る経費を、一般財源から充当する。

主な質疑

問 弁護士2人、学識経験者1人の対応でよいのか。

答 足りると考える。

問 学識経験者は、裁判で発言できるのか。

答 法廷には入れない。事前の助言や、書類作成をお願いする。

問 最初の裁判で負けたのは、町がしかるべき手を打ってこなかったためか。

答 土地の境界線について

て、告示行為はしている。

● 町内(自治)会支援事業

(120万円)

一色第五町内会の備品整備の助成を、宝くじの収益によるコミュニティ助成事業助成金で行う。

主な質疑

問 助成金の応募について、周知しているのか。

答 8月に県から助成事業の募集がある。それを28町内会に知らせている。

葉山町議会委員会条例の一部を改正する条例

議会広報常任委員会の定数を、9人から7人に変更した。

常任委員会委員の選任

(3ページに関連記事)

第2回 定例会

6月15日から29日まで開催し、補正予算、条例改正等の審議を行いました。

平成29年度葉山町一般会計補正予算(第3号)

● 保育施設等重大事故検証委員会委員報酬

(45万円)

委員報酬の1万8千円は高くないか。

答 県の報酬額に合わせた。(5ページに関連記事)

主な質疑

問 委員報酬の1万8千円は高くないか。

答 県の報酬額に合わせた。(5ページに関連記事)

● 町営住宅修繕

(103万円)

主な質疑

問 町営住宅の退去の際、退去者がどこまで補修費用を負担するのか。

答 タバコのヤニやネジ穴等は、個人の負担。範囲を明確にするため、入居時の契約文書を検討する。

問 入居を待つ人のため、補修や募集等の対応を早くしてもらいたい。

答 検討する。



滝の坂町営住宅

● 三ヶ岡山緑地津波避難路工事費の増額

(142万円)

主な質疑

問 避難路の手すりの下部分が大きく空いているので、子どもや高齢者が転落しないか不安だが。

答 一部、恐怖感がある所はある。町内会と相談し、ロープ等で対応する。

問 手すりは、なぜ二段なのか。パンフレットでは、三段になっている。

答 途中で脇に下りられるよう、二段にした。もう一段、手すりをつけたら、追加の費用は1500万円ほどだ。

問 津波避難時に、高度表示が必要では。

答 設置する。

るよう、二段にした。もう一段、手すりをつけたら、追加の費用は1500万円ほどだ。

問 津波避難時に、高度表示が必要では。

答 設置する。

問 避難人数の想定は。

答 360人だ。

問 人だまりの空間が必要ではないか。

答 出入口口に、コンクリートのたたきを設置する予定だ。あとは、並んでいた大きくよう、登り口に看板を立てる。

問 夜間の照明は。

答 入口と出口に設置し手すりに沿って、太陽光充電のLEDがつく。

問 階段

の耐用年数と、メンテナンスは。

答 35年

40年を見込んで1年に一度は精密点検を



三ヶ岡山避難路

● 図書館冷水機を設置

(19万円)

主な質疑

問 衛生面が心配だが。

答 抗菌ボタンと水のフィルター機能が加わる。

平成29年度葉山町介護保険特別会計補正予算(第1号) (34万円)

貯筋運動の事業拡大に伴う増額

主な質疑

問 申込者は多かったか。

答 締め切り後も問い合わせがあった。

葉山町附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例

28年12月に発生した葉山保育園の園児死亡事故を受けて、重大事故検証委員会を設置するための条例

（教育民生常任委員会での審査、本会議で決定）

主な質疑（本会議）

問 検証委員会の設置が遅いのではないかと警察発表を待っていた。

答 事故原因についての警察発表を待っていた。しかし、これ以上待てないと判断した。

問 町長は、28年3月の国からの通達（重大事故の場合は検証委員会を設置すること）を知っていたか。

答 28年当時は知らなかった。事故後に担当者から聞いたが、委員会設置は私が止めていた。

問 委員会を設置するのは、原因究明ではなく、再発防止のため。早く設置すれば、早く体制が整えられたのではないかと。ご遺族の心情を考えた。

主な質疑（委員会）

問 委員会が非公開か。

答 県の場合は非公開だ。個人情報が含まれるので、町でも非公開の部分が多くなる。

問 当初予算で組むべきだったのでは。

答 警察の発表を待っていた。並行して委員会の準備も進めていた。

委員会審査結果

「今後の再発防止策を検討することで、保育の質のさらなる向上を図るべき」との意見でまとまり、全員賛成で可決しました。なお「検証にあたっては、ご遺族の心情に十分な配慮を行うと共に、関係職員の心のケアを考慮すること。保護者が安心して子どもを預けられるよう対応されたい」との意見がありました。

葉山町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例

公的機関の間で個人情報を共有するため

主な質疑

問 具体的な活用事例は。

答 引越しをした方の場合、自治体間で、福祉の申請等に必要な情報共有が可能になる。

問 利用できるのは、自治体のみか。

答 国の機関や独立行政法人、医療保険従事者などもある。

反対討論（近藤、畑中）

マイナンバー制度そのものに反対だ。国民にはあまりメリットがない。人的ミスは防げないので、個人情報流出の心配がある。目的外使用も起こっている。国家による個人情報収集は、基本的人権の侵害だ。

葉山町職員定数条例の一部を改正する条例

消防職員定数を52人から55人に増やすため

主な質疑

問 現在の消防職員数は。

答 54人だ。年度内に定年退職者が2人いるので、前倒し採用した。

問 国の指針での定員は。

答 90人が本来の目標だ。



葉山町消防署

葉山町手数料条例の一部を改正する条例

屋外広告を許可する際の手数料の値上げ

主な質疑

問 手数料収入が増えるのか。

答 収入増を目指したものではない。県の条例改正に伴って改正する。

問 町が許認可権を取ったらどうか。

答 独自の条例を持つと補助金の交付がなくなり、町の持ち出しになる。

人権擁護委員の推薦

本多清法氏に決定しました。

農業委員会委員の任命

石井春夫 沼田久雄
青木克己 小松原榮
三留 武 青木 啓
根岸恵里子 白井康之
伊東圭介の各氏に決定しました。

提案議員への主な質疑

問 組織犯罪防止の国際条約（パレルモ条約）にも反対なのか。

答 条約自体に反対するものではない。条約締結には関係ない法改正だと考えている。

問 何をもって強行採決なのか。

答 会期延長など、十分な質疑・答弁をするべきだった。

反対討論（土佐、鈴木）

今回の改正では、犯罪の実行準備が行われて、初めて対象になる。犯罪集団に関係ない一般人は、対象外だ。

賛成討論（飯山、近藤）

一般人と犯罪集団の境界があいまいだ。参議院での委員会審議を打ち切り、中間報告という禁じ手を使った。国際条約の締結は必要だが、政府案が完璧とはいえない。多くの国民が、権力の監視下に置かれる不安を持っている。

総務建設

神奈川県最低賃金改定等についての陳情

神奈川県最低賃金について、国に対し、次の3点を記載した意見書の提出を求めるものです。

- 1 経済の好循環のため、早期に最低賃金の諮問・改定を行うこと
- 2 最低賃金引上げに伴う中小企業・小規模事業者への支援を強化すること

3 「働き方改革実行計画」の取り組みと連動させ、更なる取引条件の改善と共に、賃金引上げと労働生産性向上を図ること

審査結果

「働き方改革実行計画との連動については、長時間労働が懸念される」との意見はありましたが「現状の最低賃金では生活が困難であること、経済の好循環のためには個人消費の拡大が不可欠であること」から、全員賛成で採択しました。

下山口マンション建設・宅地造成開発事業に関する協定書締結手続きおよび内容の妥当性の検討を求める陳情

下山口で計画されている京急不動産の、55戸のマンション及び10戸の戸建て宅地用地の建設に関する協定書の締結手続き

並びに内容について、その協議過程が明らかでないことから、議会において、町や国、県などの施策に照らして、妥当であるか検討するよう求めるものです。

審査結果

「町と事業者の間で、まちづくり条例等に則り、どのような協議がなされ協定書締結に至ったか、その過程が住民にとって不透明であることから提出されたものであり、陳情者の気持ちは理解できる。今後、本委員会として調査研究していくべき」との意見でまとまり、全員一致で趣旨了承しました。



所管事務調査

● 海水浴場について
入れ墨の露出、海岸で

教育民生

教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度の国負担2分の1復元をはかるための2018年度政府予算についての請願書

の飲酒、ごみ問題等について質疑がありました。

委員長 土佐洋子

審査結果

2 国庫負担2分の1への復元

「インクルーシブ教育」

育※や外国籍の子どもへの対応など、教育に求められる役割は多岐にわたっており、教職員の定数改善が必要である。また、教育の都道府県格差が生じているので、国の責任で是正するべきである」との意見でまとまり、全



委員長 窪田美樹

員賛成で採択しました。
※障害の有無にかかわらず、すべての子どもたちが共に学ぶ教育のこと。

所管事務調査

● 学校給食センター建設の進捗状況について
● 逗子市との可燃ごみ広域処理（試行）について
● 平成28年度ごみ量検証報告について
● 平成30年4月から実施する、下水道事業への地方公営企業法の適用（企業会計化）について

レポート

委員会

議会広報

町民との会議について

未決定の行政課題を町民に説明し、ご意見を伺い、議会として参考にしたいと考えております。

意見交換会について

各団体と意見交換を行い、諸課題の解決のために議会が協力いたします。議会をご希望される団体は、議会にお申し出ください。

委員長 金崎ひさ

議会運営

議会改革について

2会派、7議員より44項目の提案がありました。今後、重複内容を整理し、相反する内容は取り扱わないこととしました。

議会ICT化推進チーム

議会人事の変更に伴い、チームリーダーが伊東議長から待寺に代わり、窪田議員が加入しました。

討議内容

9月開催の第3回定例会からタブレット端末を使用するため、以下の項目を検討しました。

- ①紙資料との併用
- ②会議システム及びタブレット端末の使用基準
- ③政務活動費の充当

政治倫理条例見直し

議長公約による、基本条例と政治倫理条例の見直しについては、おおむね一年以内に結論を出すこととし、次回までに、協議のための叩き台を用意することとしました。

委員長 笠原俊一

その他の決定事項

会派室等のパソコン3台のリース期間が、9月で終了します。しかし再リースはせず、残りの4台を共有して使用します。

チームリーダー 待寺真司

議員懇談会

6月29日に町長招集により開催されました。

平成28年度教育費歳出予算の支払いについて

上山口小学校旧校舎の消防用設備点検委託について、点検自体は実施済みであるが、支払いが未執行であると報告されました。金額は4万8600円です。

原因は、職員のチェックミスと業者側の請求忘

れとのことでした。平成29年度予算の予備費で対応する予定です。

教育長、教育部長、担当職員に対し、訓告処分がなされました。

福祉文化会館の非常階段工事について

29年度に予定されていた4カ所の

空調工事が終了し、入札差金が発生したため、30年度に予定していた

非常階段の修繕工事を実施したいとの説明でした。しかし「現場は地盤沈下しており、周辺の調査をした後に工事を実施すべき」との指摘が議員からあり、後日改めて報告を受けることになりました。

議長 伊東圭介 記



福祉文化会館の非常階段

平成29年 第2回臨時会・第2回定例会 表決結果

議員氏名 (議席順)	横山すみ子	金崎ひさ	鈴木道子	飯山直樹	石岡実成	山田由美	近藤昇一	窪田美樹	畑中喜子	待寺真司	笠原俊一	土佐洋子	伊東圭介	結果	関連記事
議案・意見書															
葉山町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	×討論	×	×討論	○	×	○	(議長)	可決	5P
「テロ等準備罪」を新設する組織犯罪処罰法等改正について国民の十分な理解を得ずに行われた強行採決に抗議し廃止を求める意見書	○	○	×討論	○討論	○	○	○討論	○	◎	○	×	×討論		可決	5P

注) 議長に表決権はありません。可否同数のときのみ議長が決めます。 ◎提案者 ○賛成 ×反対

全 員 一 致 の 議 案 等	結果	関連記事
平成29年度葉山町一般会計補正予算 (第2号)	可決	4P
葉山町議会委員会条例の一部を改正する条例	可決	4P
監査委員の選任について	同意	2P
平成29年度葉山町一般会計補正予算 (第3号)	可決	4P
平成29年度葉山町介護保険特別会計補正予算 (第1号)	可決	4P
葉山町附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例	可決	5P
葉山町職員定数条例の一部を改正する条例	可決	5P
葉山町手数料条例の一部を改正する条例	可決	5P
人権擁護委員の推薦について	可決	5P
農業委員会委員の任命について (9件)	同意	5P
最低賃金改定等に関する意見書	可決	8P
教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度の国負担2分の1復元を求める意見書	可決	8P
教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度の国負担2分の1復元をはかるための2018年度政府予算についての請願書	採択	6P
神奈川県最低賃金改定等についての陳情	採択	6P
下山口マンション建設・宅地造成開発事業に関する協定書締結手続きおよび内容の妥当性の検討を求める陳情	趣旨了承	6P

意見書を提出しました

紙面の都合上内容は要約しています。

最低賃金改定等に関する意見書

次の事項を実現する と。
 よう要望する。 2 最低賃金引上げに
 1 経済の好循環の実 伴う中小企業・小規模
 現のため、早期に最低 事業者への支援を強化
 賃金の引上げを行うこ すること。

教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度の国負担2分の1復元を求める意見書

平成30年度の予算編 と。
 成について、次の事項 2 義務教育費国庫負
 を実現することを強く 担制度を堅持し、国負
 要望する。 担割合を2分の1に復
 1 教職員定数の計画 元すること。
 的な改善を推進するこ

「テロ等準備罪」を新設する組織犯罪処罰法等改正について国民の十分な理解を得ずに行われた強行採決に抗議し廃止を求める意見書

本町議会は、組織的 法律等の一部を改正す
 な犯罪の処罰及び犯罪 る法律を廃止すること
 収益の規制等に関する を強く要望する。

細川慎一前議員の

失職確定

葉山町議会が決定した『除名処分』
の取消しを求める訴えがなされず!!

平成28年2月に発生した、現職議員による「覚せい剤所持・使用事件」に、ようやく
終止符が打たれました。

平成28年12月20日『除名処分』を支持した、神奈川県知事の審決から6カ月が経過
しましたが、当該人より県および、本町に
対する訴えの提起は行われず、失職が確定
いたしました。

なお、当該人への報酬は、平成28年7月
26日以降支給しておりません。

平成29年4月24日 公職選挙法の改正を国に要望

近藤議長・伊東副議長（当時）が、総務省に出向き、高市早苗総務大臣に直接要望書を手渡す。県内選出の衆参両院議員にも要望。

公職選挙法第11条第1項第3号の規定では、禁錮以上の有罪判決を受けても、刑の執行猶予が付けば被選挙権は失われません。

判決が確定しましたが、当該議員は自らの出処進退を明言せず、議員職に留まる事態となりました。町政の混乱や町民の不信感を招き、町政史上に著しく汚点を残すことになった本事件を、教訓としなくてはなりません。

公職に対する信頼が損なわれないよう、禁錮以上の有罪判決が確定し、刑の執行猶予が付いた場合でも、被選挙権の欠格事由とするよう、左記の意見書を改めて付し、公職選挙法改正を強く要望しました。

公職選挙法の改正を求める意見書（再掲）

公職選挙法第11条には、選挙権及び被選挙権に関する消極的要件が規定されている。同条第1項第3号の規定では、禁錮以上の有罪判決を受けた者であっても刑の執行猶予が付けば、その選挙権及び被選挙権は失われない。公民権が国民の基本的な権利であることは言うまでもないが、公職に就く者の犯罪に係る社会的影響の大きさを勘案すれば、公職を選ぶ権利と公職に就く権利とは別のものとして扱うべきである。

そもそも、公職に就く者には住民の模範として非常に高い倫理性、高潔性が求められることは言うまでもなく、自ら法を逸脱した行為に手を染めるようなことはあってはならない。特に、禁錮以上の有罪判決が確定した者が刑の執行猶予中であることから公職に在職し続けることは、国及び地方公共団体の品位と名誉を著しく汚すものであるとともに、公職に対する有権者の信頼を損なうものであり決して許されない。

よって、国におかれては、公職に対する有権者の信頼が損なわれることのないよう、禁錮以上の有罪判決が確定し刑の執行猶予が付いた場合も被選挙権の欠格事由とするよう、公職選挙法の改正を早急に行うことを強く求めるものである。

平成28年6月17日

衆議院議長 大島 理森 様 内閣総理大臣 安倍 晋三 様
参議院議長 山崎 正昭 様 総務大臣 高市 早苗 様



いっぱん質問

質問者の提出原稿を基に編集しています

質問者席

一般質問によって町政の争点を提起し、監査機能・政策提案機能を果たすことができます。

議員が自らの活動と知見を集約し、政策についてその問題点を論じ、提案できる機会です。

行政は正しいという考えにとらわれず、議会があることで政策が良くなると町民に思ってもらえることが大事です。

平成29年 正副委員長研修会より

詳細はホームページへ

葉山町議会

検索

	質問議員	掲載した質問事項
11P	近藤昇一	○学校給食 ○非常備消防
	窪田美樹	○高齢者福祉の拡充 ○ごみ処理広域化の基本的な考え ○子育て支援策の拡充
12P	金崎ひさ	○学校給食センター ○ごみの広域共同処理
	横山すみ子	○在宅医療・介護連携推進事業 ○貯筋運動の推進 ○防災
13P	鈴木道子	○学校の防災備蓄 ○就学援助・進級時の支援 ○軽度認知障害
	石岡実成	○待機児童対策 ○空き家の有効活用 ○給食センター ○タバコのマナーアップ ○海岸のバーベキューごみ
14P	飯山直樹	○町のイメージ
	山田由美	○買い物弱者への対応 ○逗葉高校を長期避難所に ○二子山のイノシシ ○給食センター建設計画 ○下山口マンション計画用地
15P	土佐洋子	○五輪事前キャンプ受け入れ ○がん予防の取り組み ○交通安全対策
	畑中由喜子	○街並み景観の保全 ○学校給食センター

近藤昇一 学校給食センターの抜本的見直しを 一部見直しを図る



学校給食

問 学校給食センターの用地造成費が、当初予定の2倍以上で、4億円を超える可能性が報告された。現状と課題は。

教育長 敷地造成費が大幅に上回ることから、設計業務及び厨房機器等購入のプロポーザルが実施できない現状だ。今後の課題は、専門家の意見を聞きながら再検証し、基本構想の一部見直しが必要だ。

問 根本からの見直しが必要ではないか。

教育長 基本構想を見直す考えはない。

問 先の町長答弁では「予算的な枠をはめて専門家」に財政問題

い。10億、15億、20億円でもやる」と述べているが、町の財政計画は、**政策財政部長** 中期財政計画では明確に想定した計画はない。

問 調査によると、京都府八幡市で5月1日から始まった中学校給食は、3小学校の給食調理室で4中学校の給食も作

「親子方式」で、3小学校の改修費用は約4億円。財政的にも、小学校の調理室を利用した「親子方式」を検討すべきでは。

教育長 そこまで立ち戻るのには難しい。一部見直しを図りたい。

問 職員のみ

検討でなく、専門家に財政問題

非常備消防

問 消防団員確保策で、

町職員と日本郵便株式会社消防団への加入促進は、**消防長** 役場職員2人参加。日本郵便とは話し合っている。



学校給食センター予定地

窪田美樹 高齢者の外出支援策は 福祉部長 地域での対応を町が支援したい



高齢者福祉の拡充

問 65歳以上の方のアンケートで82%の方が外出を控えていないというが、援助を必要なのはもっと高齢の方では。高齢者外出支援策にバス代補助やタクシー代補助など早急

な手立てが必要では。**福祉部長** 地域主体による移動支援策を協議している。町が行うことは簡単かもしれないが非常にお金がかかる。地域できめ細やかな対応をしていただき、そこを町が支援できるかを考えたい。

問 常設資源ステーション増設の考えは。

ごみ処理広域化の基本的な考え

常設資源ステーション増設の考えは。

環境部長 資源化率の上昇、戸別収集によるごみ排出量の減少もあり現況を維持したい。

問 持ち込みごみでクリーンセンター内外に渋滞が起き、一部有料化を行ったが解消には繋がっていない状況。逗子市では市役所やスーパー駐車場内に大型資源回収ボックスが設置してあり、行きながら捨てられる。渋滞解消にもつながるのでは。

環境部長 効果があるようなら検討の必要はある。不法投棄の懸念、カメラなど慎重な検討が必要だ。

子育て支援策の拡充

問 就学援助制度

入学前支給の取り組み状況は。



他自治体のシニアバス

金崎ひさ 町長 学校給食センター建設費総額は 全く見えていない状況だ



学校給食センター

問 敷地造成費4億円を安価にするための再度の地質調査の予算計上は。

教育部長 行わない。

問 町長は総額を何億円までなら妥当と考えるか。

町長 非常に悩ましい。

問 これまでの答弁を合わせると建設費に16億円余、各学校整備に2億円だ。上限を示すべきだ。

町長 4小学校の給食室改善が急務なので上限を示すことは差し控えたい。

問 4小学校の給食室建て替え費用が10億円、2中学校の給食室設置が3億円。よって給食センターにするのが安価との説明をしたはずだが。

環境部長 灰の

教育部長 造成費、建設費が高騰する可能性がある。一部しつかり見直す。

問 完成の目標年度は。

教育部長 32年9月だ。

ごみの広域共同処理

問 逗子市との可燃ごみ広域処理が7月からとなったが2021/月をいつまで試行するのか。

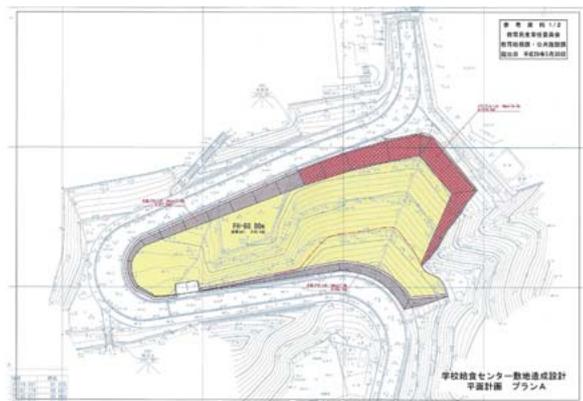
環境部長 29年度中の試行を検証し、極力早く全量をお願いしたい。

問 鉛成分除去のため、金属封鎖剤投入の整備は。

環境部長 今後、逗子市の費用で整備する。

問 もし鉛成分が検出された場合の対処方法は。

環境部長 灰の



32年9月完成なるか

処分は逗子市と協議している。

問 焼却単価は37円50銭

／詰、施設負担金は231万6千円/月なのか。

環境部長 変更はない。

問 廃炉について30年度中に実施計画を作成するとの答弁が町長からあったが地域計画の策定は。

環境部長 29年度末に完成させる。

横山すみ子 町長 在宅医療・介護連携推進事業のさらなる推進を 推進のため保健師を1人配置した



在宅医療・介護連携推進事業

問 29年2月の新聞報道で、人口20万人以下の市町村の中で、葉山町は在宅看取り率全国第3位との記事があった。現在町が推進中の医療・介護が連携した地域ケアシステムの目標は。

福祉部長 高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らしていけるよう、包括的、継続的な医療・介護を提供できる体系づくりが求められている。29年は、逗葉地域医療センター内に、逗葉地域在宅医療介護連携推進室を設置する。今後連携を強化し、安心して住み続けられる環境整備を行う。

問 さらなる行政の後押しが必要だが、考えは。

町長 医師、歯科医師、薬剤師、介護、看護関係者等の方々が横断的に議論する場には、私も出席している。29年度、保健師を1人採用。主幹級の保健師が在宅医療の関連に出やすい環境を整えた。

問 在宅医療・介護の問題についての町民向けの研修会等ももっと開催を。

町長 タイミングを見て、積極的に推進したい。

問 貯筋運動は、参加希望者が大変多い。専門家のフォローアップ等を充実し、データもとるべき。参加者の目標は。

福祉部長 貯筋運動

貯筋運動の推進

問 自主防災組織の公園等への小規模防災倉庫設置基準緩和の進展は。

総務部長 重点要望に引き上げ、県町村会を通じて要望書を提出した。

福祉部長 貯筋運動

防災



在宅医療介護連携推進室を設置

鈴木道子 各学校の防災備蓄の状況と対応は 総務部長 役場地下倉庫の非常食等を分散備蓄する



学校の防災備蓄

問 各学校の防災備蓄の状況と今後の対応を伺う。

総務部長 各小中学校にコンテナ式防災倉庫を2

台設置し、発電機や投光器・毛布等備蓄している。非常食や飲料水は役場地下倉庫に備蓄しているが、今後各校舎内に分散備蓄

する方向で検討している。

問 どの程度やるのか。

総務部長 29年度は8割を分散備蓄する予定だ。

問 一色小を避難所とする

ることについてはどうか。
総務部長 県津波浸水予測を参考に見直す方向だ。

就学援助・進級時の支援
問 要保護児童・生徒援

助費補助金として新入学児童・生徒学用品費等を中学だけでなく小学校についても入学する年度開始前に支給できないか。

教育部長 就学時健診時に周知する等、検討する。

問 進級時に家庭が負担する必要経費を分散化できないか。

教育部長 徴収事務の見直しや納入業者との支払い調整等の課題はあるが、クリアできれば可能だと思う。

保護者の意見として学校側に情報提供する。

軽度認知障害

問 認知症が2025年には2012年

時点の462万人から70万人に増加の予測がある。認知症とはい

えないが、加齢に伴

う範囲を超えた認知機能低下が見られる軽度認知障害への早期対応が必要だ。

福祉部長 町のホームページに認知症初期スクリーニングサイト等開設している。

問 尾張旭市のようなテ

ストの実施をすべきでは

ないか。

福祉部長 進めていく。



葉山小防災備蓄倉庫

石岡実成 待機児童数の現状は 福祉部長 29年度は47人となっている



待機児童対策

問 待機児童を減らす今後の対策は。

福祉部長 小規模保育園から認可園への移行、幼稚園の認定こども園の移行など、さまざまな支援を積極的に進め、31年度までにあと1カ所、保育園の整備に努めたい。

空き家の有効活用
問 空き家の実態調査結果を踏まえた、今後の有効活用は。

政策財政部長 28年に立ち上げた「空き家対策協議会」を通じ、空き家所有者に対して今後の意向などを調査し、ケースバイケースで宅建業者とも

連携を図りながら、有効活用する方法を模索していきたい。

も町全体の風紀が高まるように、広報・啓発活動をしていきたい。

給食センター
問 給食センター建設事業の時期をずらすという

方法論はないのか。

教育部長 現状抱える不透明な部分を含め、まずは外部の力も借りながら、総事業費を算出し、内部から出ている色々なアイデアと地道な検証を併せて、32年9月完成を

目指していきたい。

タバコのマナーアップ
問 タバコに関するマナーアップとルール作りを、町をあげて取り組んでは。

福祉部長 喫煙は個人の嗜好性が強く介入するのは難しい問題だが、少しずつで

対応している。

海岸のバーベキューごみ
問 海岸でのバーベキュー放置ごみの対策は。

都市経済部長 実際には、

かながわ美化財団が定期的に海岸ごみの収集をしているが、オンシーズン中は、積極的に行政としても、撤去作業など含め

対応している。



葉山保育園

飯山直樹 町長 事業見直し等、経費削減の取り組みは財政健全化を図りたい



町のイメージ

問 下水道事業を拡大させても借金減少は維持できるのか。

政策財政部長 今後もプライマリーバランスを維持する方針だ。

問 事業の見直し等、規模縮小による経費削減の取り組みは。

政策財政部長 実施計画に基づき、財政健全化を図りたい。

問 臨時財政対策債の減少要素がなく、介護保険等の支出増による借金依存により、15年程度先には破たんリスクが生じるが、策は。

町長 初期投資から回収の段階に入る対象もある。

その先に町の活性化につながる施策の期待を持ちたい。

問 経済財政諮問会議で、自治体へ財政改革の指示がでた。貯蓄増の自治体は交付金配分抑制の方針だが、国からの動き等は。

政策財政部長 今のところない。

問 給食センター建設で、当初計画数値オーバー分を財務的地から不要部分を削り、必要箇所を削り、全体のバランスをとる考えは。

町長 従来の固定観念から離れる意識改革、選択と集中等を行い、費用について見直し等が必要。

困難なことを踏まえ、費用配分を検討したい。

問 葉山の魅力を高める実行委員会について、付属機関か否かの判断要素は。

副町長 他団体で訴訟があり、既に条例を見直した。基準を作っている。



役場の財政課

山田由美 福祉部長 移動販売の試行について ニーズと営利が合致すれば



買い物弱者への対応

問 逗子市のグリーンヒルで、スーパーによる移動販売の試行が始まっているが、実情調査は。

福祉部長 情報収集には努めている。移動販売の実現には、ニーズと営利が合致することが必要だ。

問 移動販売を、高齢者の安否確認に利用する考えはないか。

福祉部長 安否確認は配食サービスや、民生委員の訪問等で行っている。

問 逗葉高校を長期避難所に指定する件は。

総務部長 逗子市担当者と話し合いを行っている。

防災倉庫の設置や、避難所運営等の課題がある。

問 二子山のイノシシについて、町外の方は知らない。ハイキングコースへの警告板の設置は。

都市経済部長 仙元山には産業振興課が設置した。二子山は管理者が違うので、把握していない。

問 横横道路の田浦トンネル部分に、県の予算でイノシシ対策のフェンスが設置された。県道の滝の坂トンネルでは必要か。

環境部長 フェンスの効果が、まだわからない。必要なら検討する。

問 給食センターの建設を、資材・人件費の高騰が収まるオリンピック後まで延期したらどうか。

給食センター建設計画



買い物に不便な団地

教育部長 多角的な検討が必要だ。趣旨はわかる。

問 下山口マンション予定地に、地下水対策の透水管を入れても、それが数年後に詰まったら。

都市経済部長 透水管や建物の基礎については、まちづくり条例に入っていない。

土佐洋子
町長 ヨットの町としてのアピールは
オリンピックコミットできる町を発信



五輪事前キャンプ受け入れ

問 英国セーリングチーム以外にも多くの国々が町に東京五輪の事前キャンプをしたとオファーがあるそうだが、対応は。

町長 宿泊場所の提供に協力してもらえ、施設の確保に努めていく。

問 ヨットの2017年ワールドカップ最終戦スペインで470級の葉山町出身、市野直毅選手が世界5位と大健闘した。町として応援できないか。

町長 直接的な応援は難しいが、町の広報に紹介をしたり、町が応援しているというアピールをしていきたい。

がん予防の取り組み

問 乳がん検診でマンモグラフィーだけでは判別

不能なケースへの個別対応が必要で、超音波検診が有効ではないか。

町長 乳がんが発見しにくい高濃度乳腺の女性は、欧米に比べ日本人女性には多く、5割以上が該当する。高濃度乳腺と診断された人に対して、超音波エコー検査を実施できるかどうか、他自治体の取り組みについて情報収集し、通知などの導入について検討する。

して運転免許の自主返納を促進するべきではないか。

町長 運転免許証を返納した方に、商品の割引など特典が受けられる県高年齢者運転免許自主返納サポート制度がある。積極的な利用を促進し、運転が不安な高齢者等が運転免許証を返納しやすい環境の整備に努める。

交通安全対策

問 高齢者の事故防止を図るため、町と



470級 市野・長谷川ペア

畑中由喜子
町長 景観保全の充実に向けた取り組みは
どのように保全するかは大切な要素だ



街並み景観の保全

問 平成22年に策定された葉山町景観計画は24年度までを定着期、25年度までを定着期、27年度を定着期として安定的な施策展開を継続するとしているが、景観保全の更なる充実に向け、その後はどのような取り組みをするのか。

町長 葉山は自然と住宅が融合した街並みがセーリングポイントで、この辺で今後どのように保全するかは大切な要素だ。行政が規制して取り組むより、住民が自らの地域のあるべき姿への想いを語るべき姿へ考える。多くの地域まちづくり協

議会が広がることまちづくりの充実につながる。だ。端的に言う、ある種原点に戻ってという議論の提起かと思う。建築方法の改善、この周辺に可能性のある所がないかなど、もう一度、一部手直して検討したい。

学校給食センター

問 学校給食センターの造成にかかる費用2億円が4億円になると明かされた。このままの計画を進めるのが妥当かどうか。

教育長 建築設計等の専門家の意見を聞くことも視野に、現候補地も含めて再検証すること、全体の総事業費の算出をすること、スケジュールの点検をするなど、基本構想の一定を見直しが必要と考えている。

問 小学校4校を自校式に建て替えた場合等の試算をして多くの人の納得を得る努力が必要では。



長者ヶ崎からの景色

表紙説明

7月7日金曜日、葉山森戸海岸にて海開き式および、海上保全祭が厳かに執り行われました。

表紙の写真は当日、

海水浴で遊びに来られていたご家族のお子さまで、今年初めての海水浴だったので、う、体よりも大きな浮

き輪で、大はしゃぎして楽しまれていました。いよいよ夏本番。た

くさんのお客さまにお越しいただき、事故がなく、安全・安心の海水浴場運営ができるよう、関係者一同祈願しました。

また、ライフセーバーの方々が海岸トイレの塗装に協力してくださり、この貢献に対する感謝状が贈られました。



海上保全祭



感謝状贈呈式

町長行政報告

第2回臨時会

逗子市との可燃ごみ共同処理について、逗子市の焼却灰から埋立て処分基準値を超える「鉛又はその化合物」が検出されたため、逗子市への搬入を延期していました。対策を講じた結果、基準値の範囲内に収まったことから、7月より200ト/日の試行を開始します。再発防止のため、今後はキレート剤（金属封鎖剤）を投入します。

第2回定例会

●第1回臨時会で議決した下山口にある町道の所有権に関する控訴の提起は、第1回口頭弁論が6月29日に決まりました。（4ページに関連記事）

●葉山町教育総合プランにおける基本理念である「人を育てる『葉山』の実現のため、町における教育、学術及び文化振興に関する施策の目標や基本方針を「葉山町教育大綱」として策定しました。

傍聴記

傍聴者

- ① 議会傍聴に来られない町民へのインターネット放映をスマートフォンでも視聴できるようにしてほしい。
 - ② 傍聴人を増やすように議員各位が努力をして欲しい。
 - ③ 一問一答式は良いと思う。
- 長柄 Aさん

議会より

ご意見ありがとうございます。本会議の傍聴に関しては、スマートフォン対応は経費が高額ですので踏み切れないでいます。委員会傍聴に関しては、スマートフォンでライブも録画も傍聴できますのでご覧ください。

平成29年第3回定例会は
9月12日(火)
からの予定です

皆さまの傍聴をお待ちしています

議会の最新情報は
ホームページを
ご覧ください

編集後記

「議会だより」は54万円余の予算で、年4回発行されます。

葉山が住み良い町となるように、町民の皆さまの代弁者として活動している、議会の様子をお知らせするものです。

そのためには「議会だより」を手にとって読んでいただけるものにしなければなりません。

5月からの新メンバー一丸となって「わかりやすい議会だより」になるよう心掛けて編集作業を進めています。

ご感想、ご意見、ご要望など議会にお寄せいただけましたら幸いです。

7月7日記

委員長 金崎ひさ

議長 伊東 圭介
議会広報常任委員会

金崎 ひさ 山田 由美
飯山 直樹 窪田 美樹
待寺 真司 土佐 洋子
笠原 俊一